

## 平成30年第4回板倉町議会定例会

議事日程（第4号）

平成30年12月14日（金）午前9時開議

日程第 1 閉会中の継続調査、審査について

---

○出席議員（12名）

1 番	小 林 武 雄	議 員	2 番	針ヶ谷 稔 也	議 員
3 番	本 間 清	議 員	4 番	亀 井 伝 吉	議 員
5 番	島 田 麻 紀	議 員	6 番	荒 井 英 世	議 員
7 番	今 村 好 市	議 員	8 番	小 森 谷 幸 雄	議 員
9 番	延 山 宗 一	議 員	10 番	黒 野 一 郎	議 員
11 番	市 川 初 江	議 員	12 番	青 木 秀 夫	議 員

○欠席議員（なし）

---

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

栗 原 実 町 長
中 里 重 義 副 町 長
鈴 木 優 教 育 長
落 合 均 総 務 課 長
根 岸 光 男 企 画 財 政 課 長
峯 崎 浩 戸 籍 税 務 課 長
山 口 秀 雄 環 境 水 道 課 長
橋 本 宏 海 福 祉 課 長
小 野 寺 雅 明 健 康 介 護 課 長
伊 藤 良 昭 産 業 振 興 課 長
高 瀬 利 之 都 市 建 設 課 長
多 田 孝 会 計 管 理 者
小 野 田 博 基 教 育 委 員 会 長
伊 藤 良 昭 農 事 務 局 長

○職務のため出席した者の職氏名

小 林 桂 樹 事 務 局 長

---

川野辺	晴	男	庶務議事係長
福知	光	徳	行政安全係長兼 議会事務局書記

開 議 (午前 9時00分)

○開議の宣告

○青木秀夫議長 おはようございます。

本日は定例会の最終日です。直ちに本日の会議を開きます。

---

○閉会中の継続調査、審査について

○青木秀夫議長 これより日程に従い議事を進めます。

日程第1、閉会中の継続調査、審査についてを議題といたします。

お手元に配付したとおり、各常任委員長及び議会運営委員長から閉会中の継続調査、審査申出書が提出されております。

お諮りいたします。各委員長申し出のとおり、閉会中の継続調査、審査に付することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○青木秀夫議長 異議なしと認めます。

よって、各委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査、審査に付することに決定いたしました。

---

○町長挨拶

○青木秀夫議長 以上で今定例会に付議された案件は全て終了いたしました。

ここで町長より発言を求められておりますので、これを許します。

栗原町長。

〔栗原 実町長登壇〕

○栗原 実町長 改めまして、おはようございます。大変風邪が流行しているようでありますが、私も今議会、皆様方に迷惑をかけながらの議会で行ってまいりました。おわびを申し上げ、まだ鼻声ということで、どうしようもないなと思っております。

それでは、閉会に当たり、ご挨拶を申し上げます。12月6日から9日間の日程で開会された平成30年第4回の定例議会におきましては、12議案を慎重審議いただき、原案どおり可決いただきまして、ありがとうございました。また、土日を挟んでの7日あるいは10日には、久しぶりに7人の議員さんが一般質問ということで登壇をされまして、活気を感じたところでございます。

その内容につきましては、新庁舎の完成に関して、あるいは館林との合併に関して、さらには資源化センター跡地や小学校再編後の空き校舎の再利用計画等について、それぞれ2名の議員さんから質問がありまして、ほかに防災ラジオの関係、総合的な防災の関係、町の今後の道路整備や、さらなる福祉の充実等に対する考えをいただいたところであります。それぞれ貴重な意見ではございますが、物によっては果たして議会の皆さん全員がそう考えるのかどうかという問題も感じながらの内容もありましたので、ぜひそれらも含めて、議会の半数の皆さん以上の考え方になりますようお願い計らいを、お取りまとめといたしますか、そういった作業も必要なのではないか。個人的な意見だけを述べる場ということでも、一般質問の価値は十分あるわけではございますが、さらにもう一層の議会の力をお願いしたいと思います。

また、国語、英語教育のあり方も、教育長と青木氏との間でも、既に何回もの議論になっているかと思いますが、それぞれ熱い思いで国語教育の重要性を重ねて述べられているわけでありますので、その意思、あるいは狙いは、言わんとしているところは、教育委員会としてはその理解は進んでいるのかなというふうに思っております。

さて、11月20日、ちょうど私が東京へ全国町村長大会へ出席をした前夜でありまして、半蔵門ホテルで群馬県選出の全衆参議員と会食のスケジュールがあったわけでありますが、群馬県でその席、たった一人、昭和村の村長が欠席をいたした次第でございます。なぜかという、その晩が昭和村の村議会の選挙があった日でございます。11月20日、多分間違いなければということですが、いわゆる立候補者が定員に満たないということで、村長も大きな責任を感じ、直前まで、いわゆる立候補締め切りまで最大限の努力をしたということで、そのために群馬県の各町長の一同の重要な会議に出られなかったということで、その場でも大きな話題にもなりましたが、その後のマスコミ等々も含めて大きな話題となったところでありまして、即座に補欠選挙が、締め切りと同時に補欠選挙が引き続きということで決定されたことはご承知のことと思います。

いろいろその席でもお話が出ましたが、議員に最近は何の魅力も感じないということが、どの町も非常に多いようであります。あるいは区長、あるいは自治会長がいれば、議会は要らないというような声も多いというお話も随分出ておりました。あるいは、議会の価値そのものを認めないという、どういう意味だかわかりませんが、そんな声も多いのだよという各町長の話もございました。最も決定的なものは、給料が安過ぎる等々そういったものも含めて、マスコミ等でもいろいろ、立候補者が少ないのはなぜなのかと、その理由がその後も追求されているところがございます。

私が見ますのに、市議選、県議選では、立候補者は若手も含めて非常に多い。年々多くなってきていると思ってお見受けておりますが、逆に町村議会だけに限りますが、どこの議会を見ましても、平均年齢65前後もしくはそれ以上、高齢者ばかりの傾向が強く、特に若い年代層が全くいないというようなことで、例えば議会の価値を認めないとか、区長がいればとか、いろんなそういうものが出てくると思うのですが、いずれにしてもそういった県議も市議も町議も、仕事上は恐らく同じくらいの負担であるはずであります。恐らく選挙の地盤の広さの違いの関係もあって、給料等々については現在の形がとられているのだと思うのですが、いずれにしても余りに同じ仕事を、市議員と板倉町の例えば町会議員さんを見ましてもほとんど同じことをやっているにもかかわらず、そういう意味では給料が安いというようなことも何とか考えなければというふうに、各自自治体考えているような流れになりつつあるかと思っておりますが、それらにつきましても自分のことということよりも、町全体の健全な民主主義を担保するための議会ということで、各種各層から満遍なく代表者として一定の数が出ることができ、しかも競争があることということを含めた中で、議会としてもそういう議論を真剣に考えていただいて、自分がやっているうちは無投票のほうがいいなんていう考え方も、それは成り立つのですが、そういったことも考えていただく必要があるであろうということであります。なぜなら、まさにあと半年弱で、当板倉町のいわゆる議会の選挙もあるわけであります。

小さな自治体ほど、むしろ議員数も少なく、欠席をすれば目立つ、あるいは選挙民の議員を監視する目線が厳しいとかいろいろ言われておりまして、それにプラスして、いわゆる給料その他も安いということも、きっと議員に対する魅力に欠けている要素の一つに、大きくそういったものが加担をしているのだら

うということも考えますので、一生懸命それらも考えていきたいなというふうにも我々も考えるところであり、郡内でも最も高齢化をした我が町の議会でございますので、ぜひそういう意味ではなくどいようですが、立候補者の増える方策を議論していただかないと、議員さんみずからの首も絞まると、そういうことになるのだらうと思っておりますので、ご検討をという一つの機会にさせていただければというふうに思います。

また、私もいろんな角度から議会を見ております。例えば今議会、我が町の3倍以上の規模がある大泉町議会では、今申し上げました活性化や合理性を追求してか、3日間の日程であります。連続3日で終了しております。6月議会も3日でございます。今議会は14議案で、我が町より議案も多うございますし、一般質問も同じく7人やられておまして、今のこの忙しい時代に、議員さんが決して対価が十分でない中で、さすが先進町だなと私は思っております。ネクタイを締めるのは3日で済ませている。それで、十分大泉の議会はしっかりと、我が町よりいいかげんではないとは思っております。傍聴したことはありませんが、最低同じことはやっているのだらうと思っております。

したがって、我が町は公表上は9日間あります。実質6日間、きょうなどは朝来て解散と、こういうことになるのでしょう。そういった古い体質を、誰がどこで改善をするのかと。それを古い体質と私は思っておりますが、皆さんは果たしてどう思うかわかりませんが、そういういわゆる無駄とか効率性を考えない上に、若い例えば議員を目指す人もちゅうちょしてしまうのではないかと、いろんな原因が総合的に考えられますので、例えば会期そのものから検討する必要も、一つの大泉さんを見るときに考える必要もあるのだらうと。

しかも、そのことに関して9日間であれば9日間、板倉町の職員も相当数一応は縛られるわけです。議員さんという特別な立場に対して、登庁しておられるということに対しての緊張感も、それはいい意味であるでしょう。しかし、いつ来られても仕事を中断して、議員さんの要望等、あるいは意見等々も含めて対応しなくてはならないという準備態勢等々も含めて、いわゆる職員のほうも相当比例して、大きな対応力を必要としているわけでありますので、単に議会だけでなく、町全体の効率性を考えたときに、議会あるいは議会の進行あるいは日程の組み方等々についても、そして議員さんみずから効率的に考える意味でも、議運を中心に研究することはいかがかという提案をさせていただくところであります。

給料を上げるのはそんなに簡単ではないという流れの中で、働き方を変えるだけで、9日を3日で行えば3倍の効率性、給料が3倍にその時間は上がっているということと同じでありまして、企業都市、企業町である大泉町はずっとそういったものを、ことしだけではございません。見ておまして、いろいろそういったことも、ともに切磋琢磨する必要があるであらう。また、そのために郡内の議員の勉強会等々もやっておられるのではないかと、このことを考えるときに、研究のご提案を申し上げるところであります。

それはそれとして、議会さんのことですから、私個人の主観を述べているということでお許しをいただきながら、いよいよことしもあと半月でございます。いつもの年の暮れと同じく、年末の忙しさを感じておりますと、あっという間に新年にならうかと思えます。2月12日火曜日、開庁の予定で現在スケジュールを進ませております。そして、2月16日、4日後の新庁舎落成、あるいは同時に行われようと計画しております記念式典に向け、まずは各機関の法定検査を現在クリアするように全力を挙げておりますし、現職場内の使用可能な調度品あるいは事務用品の整理、持ち込みも含んだ新規調達品をあわせた引っ越し作業等、1月中は例年の新年初めの多忙さと重なって、緊張とそういった忙しさが続くと思えます。何せ60年、何十年に1

回の引っ越しですので、万全の注意をしながらやっているわけではありますが、初めてということでもありますので、どこに落とし穴が待っているかどうか分かりません。一生懸命やっているということをご理解いただき、できるだけ計画的に運ばせたいということの気持ちを酌んでいただきながら、気がついたところではご示唆をいただきたいというふうにも思っておりまして、ぜひ計画どおり2月16日まで持っていきたいというふうに考えております。

そういうことでございますので、1月中は例年の新年初めの多忙さと重なって、そういった緊張が続くと思っております。我々ももちろんですが、議員各位にも体調に留意され、元気に新年を迎えられ、なお4月改選に向けての4年に1度の特別な新年ということにもなるわけでありますので、ことしはいつもの新年よりも議員さんもいろんな角度から見ると忙しいというふうに推察をいたします。新年当初からのますますのご活躍を祈念申し上げ、皆様のご多幸を祈念申し上げまして、閉会に際してのご挨拶といたします。大変ありがとうございました。お世話になりました。

---

#### ○閉会の宣告

○青木秀夫議長 以上をもちまして平成30年第4回板倉町議会定例会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

閉 会 （午前 9時17分）